

# 手紙文化を「なんとか守らなきゃ」



厚木市内 11カ所で絵手紙教室の講師を務める 萩原 トミエさん 上荻野在住



心がこもっている絵手紙は誰が見ても心に感じるものになると思います。機会があればロビーに掲載させていただきます。 病院側より

20年程前、荻野公民館で役員を務められ、その後師匠となる絵手紙講師を招かれたのが、絵手紙の出会いとなり、そして初めて参加した講座の題材は、家にあったジャガイモで地味な見た目に苦勞しながら、指導を受け完成させた想いをきっかけに半年後には講師の資格をとるほど夢中になりました。

近年、電子メール、SNSの普及によりかげりを見せる絵手紙文化を「なんとか守らなきゃ」の力強い意思のもと「描いた作品は手元に残さず」という師匠の教えを守り、毎年470枚程の年賀状を出し続けておられます。

